

# おめでとう!

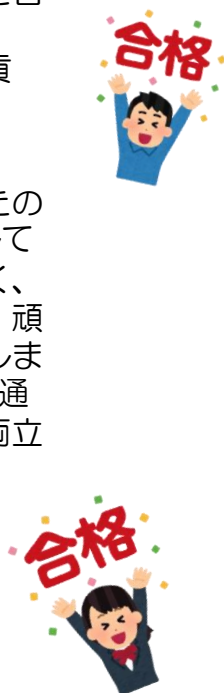


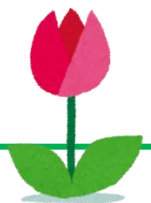
今年度から、看護師として働くことになりました。これからも多くの経験を積みながら、日々の関わりの中で、相手の気持ちを考えて行動に移していけるように、努力していきたいと思います。  
松岡内科クリニック 山浦慈

やっと、今年看護師になる事が出来ました。これから、自身に足りていない部分を学び、身につけながら一歩ずつ進んでいき、今までより患者に寄り添える看護師を目指したいと思います。  
松岡内科クリニック 小山田貢



今年准看護師の免許を取得したので、3月16日から准看護師として働いています。看護経験がなく、分からないことばかりですが、頑張りますのでよろしくお願い致します。また、4月から大垣高看に通いながら働くので、学業との両立もできるようがんばります。  
大垣北クリニック 加納怜奈





看護大改革の続き

1859年にナイチンゲールは、『看護覚え書き』の出版によって、「公衆衛生」という考えが広く認知され、世の中の衛生習慣を一変させてくれました。そして、1860年にはロンドンのセント・トーマス病院の中に宗教を問わない世界で最初の看護学校である「ナイチンゲール看護学校」が開校。厳しいテストに合格した15名が第1期生として入学しました。

ナイチンゲールの考えを反映して作られた「看護教育システム」は、当時としてはとても画期的だったようです。カリキュラムは、一人前になるための基礎教育に1年間、看護助手として実務教育の2年間の計3年間であり、さらにマトロン（看護師たちの指導者）を目指すために上級者コースが用意されていました。このカリキュラムは、「ナイチンゲール方式」として、世界各地の看護学校で取り入れられることになりました。ナイチンゲールのもとには、生徒たちからのお礼や相談の手紙が多く届き、一人一人に丁寧に返事を書いていたようです。また、生徒たちとの交流を楽しみにし、直に生徒の声を聞くことも大事な時間としていたようです。看護教育の基本もここにあるのですね。

種田美和

99歳の詩人 柴田トヨさん「くじけないで」



90歳を過ぎてから詩を書きはじめたそうです。この詩を読むと、なんだか心がほっこりしますし、元気になります。トヨさんみたいな生き方がしたいなあと思いました。いくつになってもみずみずしい感性を持つこと、とても大事なことなんだなあと気づかせてもらった気がします。トヨさんの作品を何点か紹介させていただきます！

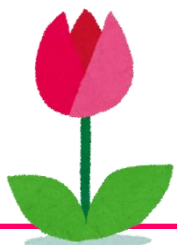


先生に  
私を  
おばあちゃんと呼ぶ  
「今日は何曜日？」  
「9+9は幾つ？」  
そんなバカな質問も  
しないでほしい  
「柴田さん  
西条八十の詩は  
好きですか？」  
小泉内閣を  
どう思いますか？」  
「こんな質問なら  
うれしいわ」

ことば  
何気なく  
言ったことばが  
人をどれほど  
傷つけていたか  
後になって  
気がつくことがある  
そんな時  
私はいそいで  
その人の  
心のなかを訪ね  
ごめんなさい  
と言いながら  
消しゴムと  
エンピツで  
ことばを修正してゆく

貯金  
私ね人から  
やさしさを貰ったら  
心に貯金しておくの  
さびしくなった時は  
それを引き出して  
元気になる  
あなたも今から  
積んでおきなさい  
年金より  
いいわよ

種田美和





## 看護部2022年度目標



### 利他の心を持つ

2022年度の目標は「利他の心を持つ」を掲げます。「利他の心」とは、仏教の教えで「自利他利」の精神に由来しているとされています。

「利他」とは、「世のため、人のために尽くす」ことを意味します。「自分」のことよりも、「他人」のことを優先することをいいます。

私たちの心には、「自分さえよければ」という「利己の心」と、「自分を犠牲にしても他の人を助けよう」という「利他の心」があります。「利己の心で判断すると、自己中心的となり、場合によっては間違った判断をすることもあります。利他の心で判断すると、周囲の人たちのことも考えて、思いやりに満ちた正しい判断に導いてくれるものです。

思いやりの心を持って、自己中心的にならずに、他人に寄り添う気持ちをはぐくむ心を持ち「利他の心」で判断できるようにという意味で目標を掲げました。

#### 杉山さんの世界

##### 逆算の発想から創造する面白味

世の中では世界中あらゆるところで不可解な事柄が存在している。勿論この日本でも、消えてなくなることはないのだろう。コロナ禍や今回のウクライナ情勢を静観し、印象が強かったのは重大な決定事の裏に、権力のエゴを感じる時があり、国や様々な組織にある揺るがない力学をみせつけられる事だ。我々個のレベルが数で圧倒しようとも、山を動かす事などできないのだろうとしか思えない。多くの人種がいて偏見があり、又物質的な価値を崇拝する世間があることも一つの要因となり、ピラミッド社会があると考えている現代の悪しき醜態を打破していこうという個の主張や行動は、勇ましいことだと言えるが、悪代官が存在した時代から月日が経っても、様相を変え、それらは存在している今がある。どうあがいても、変化していかない不可思議な現象が世間には多いと思うが何故なのか、検索するのも興味深い、すると私としては、それら多くのジレンマとを感じる物事が、当然にある生活空間こそが、皆が住む世界であり、だからこそ生きる事に多くの意義を見出せているのではないかと考えることがある。実に巧妙にできた世の中だといつも感じている。世界中、日常的に拒絶したくなるような事柄が起こるのが、自然という根拠になり得る特異な視点があると、その解釈によってはとても気楽なスタンスで1日を過せるのかもしれない。あってはならない現実と無くならない真(理)・・・それは矛盾という名の知恵の輪のようだ。

榎の樹介護職員 杉山仁

#### 編集後記

一気に春らしい天気となりましたね。桜も満開でしょうか。加えて色とりどりのお花が咲き始める季節ですね。

これまで一生懸命勉強に励んで、看護師、准看護師試験に合格した3名の方々、改めまして、合格おめでとうございます🌸今回は、今年度の看護部の目標をその意味を添えて掲げました。看護師、准看護師になった今、これから長い看護師、准看護師人生の中で各々がおもう看護観の参考になるのではないかと思います。また、その他の看護部の皆さん、皆さんの看護観は何でしょうか？信念をもって看護に取り組んでいる人も多いと思います。経験と共に、看護観は深くなっていくものです。今一度考える機会となれば幸いです。 兒玉君子